

2024 年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1)研究発表会

1) 本部:第 76 回大会*1

5 月 24～26 日、相山女学園大学 演題登録は口頭発表 98 題、ポスター発表 135 題で、参加者は 560 名であった。

*1: 対面開催とした。

2) 支部:研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9月14日*2
関東支部	2月18日*1
中部支部	9月14日*1、2月15日*1
関西支部	11月30日*1
中国・四国支部	9月15日*1
九州支部	10月5日*1

*1: 対面開催とした。*2: オンライン開催とした。

3) 部会:研究発表会を開催

家政学原論部会	8月24・25日*3
生活経営学部会	8月29日*2
家族関係学部会	10月26・27日*3
食文化研究部会	4月13日、6月8日、7月13日、 9月14日、11月17日(研究大 会)、12月14日、2月8日*3
服飾史・服飾美学部会	3月8日*3
被服心理学部会	8月29日*2、2月26日*2

*1: 対面開催とした。*2: オンライン開催とした。*3: ハイブリッド方式で開催した。

(2)セミナー

1) 本部:第 7 回家政学夏季セミナー

9 月 2 日(月)～3 日(火)に、若手の会主催で「防災と生活」をテーマに開催した。1 日目は実践女子大学渋谷キャンパスで特別講演とセミナーの後、日本橋へ移動し施設見学をした。参加者は 49 名であった。2 日目の施設見学は、26 名であった。

2) 部会:

家政学原論部会	8月24・25日*3
生活経営学部会	8月29日*2
食文化研究部会	10月12日*1
被服材料学部会	8月27・28日*1
被服構成学部会	8月29日*2
被服衛生学部会	8月27・28日*1
被服整理学部会	8月27日～8月28日*1
被服心理学部会	8月29日*2、2月26日*2
色彩・意匠学部会	9月3・4日*1
家政教育部会	8月31日*3、3月17日*2

*1: 対面開催とした。*2: オンライン開催とした。*3: ハイブリッド方式で開催した。

3) 若手の会:第 7 回家政学夏季セミナーを本部と関東支部若手の会と共同で開催した。

(3)公開講演会・シンポジウム等

1) 本部:第 76 回大会時に開催(5 月 25・26 日)*1

公開講演会、シンポジウム、国際交流委員会、若手の会企画、家庭生活アドバイザー認定証交付式・活動報告会、ランチョンセミナー

*1: 対面開催とした。

2) 支部:公開講演会を開催

東北・北海道支部	9月14日*2
関東支部	4月20日*3、9月10日*2
中部支部	9月14日*1
関西支部	5月18日*1
中国・四国支部	9月14日*1
九州支部	10月5日*1

＊1：対面開催とした。＊2：オンライン開催とした。＊3：ハイブリッド方式で開催した。

3) 部会：公開講演会を開催

生活経営学部会	8月29日 ^{＊2}
家族関係学部会	10月26日 ^{＊3}
被服材料学部会	8月27日 ^{＊1}
被服構成学部会	3月18日 ^{＊1}
被服衛生学部会	9月28日 ^{＊2}
被服心理学部会	8月29日 ^{＊2} 、2月26日 ^{＊2}
色彩・意匠学部会	9月3日 ^{＊1} 、2月27日 ^{＊1}
服飾史・服飾美学部会	5月26日 ^{＊1}
家政教育部会	8月31日 ^{＊2} 、3月17日 ^{＊3}
住居学部会	1月30日 ^{＊3}

＊1：対面開催とした。＊2：オンライン開催とした。＊3：ハイブリッド方式で開催した。

大会企画を開催

服飾史・服飾美学部会	5月26日 ^{＊1}
食品組織部会	5月25・26日 ^{＊1}
住居学部会	5月25日 ^{＊1}

＊1：対面開催とした。

4) 若手の会：第76回大会時に交流座談会(5月26日)を対面開催した。^{＊1}

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1) 本部

1) 学会誌：「日本家政学会誌」75巻4号～12号及び76巻1号～3号(12回)を各2,300部発行し、J-STAGEで論文を公開した。

【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

巻		第75巻									第76巻			掲載された 論文数合計
号		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
種別	報文	0	1	2	2	3	1	1	1	1	2	2	2	18
	ノート	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	6
	資料	2	1	0	0	1	2	2	1	2	0	0	1	12
部門別 編数	原論・経営					1	1				1	1		4
	児童・家族	1	1					1		1		1		5
	食物		1	2	1	2	2	2	2	2	1		1	16
	被服	1			1	1	1		1		2	1	1	9
	住居												1	1
	教育・その他							1						1
合計		2	2	2	2	4	4	4	3	3	4	3	3	36
ページ数		23	23	23	28	41	42	38	33	36	40	35	39	401

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少 (編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
2023年度	5	10	26	14	1	8	1	65
2024年度	5	13	24	10	4	6	0	62
増減	0	3	▲ 2	▲ 4	3	▲ 2	▲ 1	▲ 3

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
2024年度	33	7	12	14	66

【倫理審査実施論文の部門別内訳】

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
倫理審査	2	4	1	2	1	1	0	11
審査伺い	1	0	0	2	0	0	0	3
証明書確認	4	8	16	3	2	3	0	36
合計	7	12	17	7	3	4	0	50

倫理審査:審査を実施した論文

審査伺い:倫理審査不要、前回投稿時の倫理審査を引き継いでよい、と判断された論文

証明書確認:所属先倫理承認証明書と論文記載内容の確認 2022 年 10 月以降実施

参考:2023 年度 倫理審査 11 件、審査伺い 1 件、証明書確認 32 件 計 44 件

2) 第 76 回大会研究発表要旨集を 800 部発行し、J-STAGE で公開した。

(2)支部:以下の要旨集等を刊行した。(データ送信含む。)

東北・北海道支部	「2024年度第67回研究発表会要旨集」
関東支部	「第27回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」
中部支部	「第68回(2024年度)大会要旨集」 「第25回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「2024(令和6)年度研究発表会要旨集」
中国・四国支部	「第70回(2024)研究発表会・研究発表要旨集」
九州支部	「2024年度(第68回)研究発表要旨集」

(3)部会:以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」 「度家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行とJ-STAGE 公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」(機関誌発行、および論文等をJ-STAGE公開)
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服材料学部会	「被服材料学部会部会報」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」 「被服構成学部会夏期セミナー要旨集」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」 「被服衛生学部会公開講座要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」 「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会夏季セミナー要旨集」 「色彩・意匠学部会春季公開講演会資料集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」

3. 研究及び調査の実施

(1)支部:中部支部若手の会で勉強会、スキルアップ講習会を実施した。関東支部若手の会で勉強会を実施。

(2)部会:研究会、調査等を実施した。

家政学原論部会	児童学部会(公開シンポジウム)
色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1)本部

1) 2024 年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。

学会賞:大藪千穂氏、山村明子氏

奨励賞:佐藤海帆氏

功労賞：今井悦子氏

2) 活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。

支部：中部支部、関西支部

部会：家政学原論部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服材料学部会、被服整理学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会、住居学部会

3) 支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。

東北・北海道支部、中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部

4) 第 76 回大会活性化提案企画として以下の部会および若手の会に助成を行った。

部会：食品組織部会、服飾史・服飾美学部会、住居学部会

(2) 支部

1) 東北・北海道支部：

①2024 年度若手会員および学生研究者への研究助成において審査の結果 1 件の研究に対して研究助成を行った。

②2024 年度研究発表において優れた学生発表 1 件に対して表彰を行った。

2) 関東支部：

①家政学関連卒業論文・修士論文研究発表者に発表奨励賞を授与した。

3) 中部支部：

①若手の会の活動に奨励金を支給した。

②日本家政学会誌に論文が掲載された若手研究者 1 名に中部支部論文奨励賞を授与した。

③中部支部大会の研究発表会発表者 2 名に中部支部大会発表奨励賞を授与した。

④家政学関連院生・学生研究発表会発表者 2 名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。

4) 関西支部：

①2024 年度研究発表会において優れた研究発表を行った若手研究者 3 名に若手優秀発表賞を授与した。

5) 中国・四国支部：

①優れた研究報告を行った若手研究者 2 名に中国・四国支部賞を授与した。

②2024 年度支部研究発表会において優れた研究発表を行った 3 名の会員に優秀研究発表賞を授与した。

6) 九州支部：

①若手への研究助成において審査の結果、1 件の研究に対し支部研究発表会にて支部賞を授与した。

(3) 部会

1) 家政学原論部会：各地区会に研究活動費を補助した。

2) 生活経営学部会：各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。

3) 食文化研究部会：石川松太郎食文化研究奨励賞授賞者を 1 名に授与した。

4) 食品組織部会の廃部を承認した。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

1) 資格取得のための第 8 期研修会と資格試験を、対面及びオンライン方式で実施した。＊新規認定者 9 名

2) 資格保持者のための資格更新研修と活動報告会を、対面及びオンライン方式で実施した。＊更新者 16 名

3) 今後の資格のあり方について継続して検討した。

6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1) 本部

1) 国際交流委員会：国際家政学会 (IFHE)・アジア地区家政学会 (ARAHE) の組織や大会に関する広報、IFHE・ARAHE との連携活動、国際交流委員会 HP の更新、メルマガへの情報発信などの活動を行った。

2) 関連学会との交流: 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。

3) 学協会関係: 生活科学系コンソーシアムのメンバーとして、(一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、情報の交換等を行った。
日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会でのシンポジウムへの参加を推進した。

4) 公益信託家政学研究助成基金: 総数 2 名(うち学会員 2 名)に対し研究助成がなされた。

5) 生活やものづくりの学びネットワーク: 関連学協会と連携して生活やものづくりの学びネットワーク公開フォーラム(9 月 28 日)、春の学習交流会(3 月 15 日)を ZOOM にて開催し、年に 2 回の会報「生活やものづくりの学びネットニュース第 27 号、28 号」を刊行した。

(2) 部会

家族関係学部会: 学術交流として、韓国家族関係学会にて、家族関係学部会員が基調講演を行った(11 月 2 日、ソウルのジュンアン大学で開催)。

7. その他の目的を達成するために必要な事業

(1) 総務委員会:

1) 一般社団法人日本家政学会論文投稿規程及び執筆要項の改正、日本家政学会学会賞及び奨励賞選考基準に関する申し合わせの改正を行った。

2) オンラインによる選挙が円滑に遂行できるよう環境整備に努めた。

(2) 財務委員会:

1) 財務関係書類の点検を行い、課題を検討した。

2) インボイス制度について公認会計士事務所との情報交換を行い、インボイス登録業者になるのに必要な業務を行った。

(3) 情報管理委員会:

1) ホームページは毎月 2 回更新した。

2) メールマガジンを 103 回配信した。

3) 家庭生活アドバイザーの活動動画をホームページに掲載するとともに、YouTube 配信した。

(4) 編集委員会:

1) 執筆要項(文献の書き方、付表、利益相反)について見直し、修正した。

2) 倫理審査に関する内規について見直し、修正した。

3) シリーズ原稿の原稿料について見直し、修正した。

4) 電子ジャーナル化への移行準備を行った。

5) オープンアクセス化に向けて JST の勉強会に参加し、コンサルタントとのミーティングを行った。

6) 第 77 回大会研究発表審査を行い、プログラムの編成を行った。

(5) 企画広報委員会

支部と部会(若手の会を含む)が年度交代で、夏季セミナーを主催することを確認した。

(6) 刊行委員会: 2024 年度には刊行を行わなかった。

8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

(1) 総会

1) 本部: 2024 年度代議員総会、5 月 25 日、対面開催 出席者 62 名(代議員 43 名、理事・監事 19 名)

2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部 ^{*4}	関東支部 ^{*3}	中部支部 ^{*1}	関西支部 ^{*1}
	中国・四国支部 ^{*1}	九州支部 ^{*1}		

臨時総会	東北・北海道支部*2			
------	------------	--	--	--

*1:対面開催とした。*2:オンライン開催とした。*3:ハイブリッド方式で開催した。*4:書面による開催とした。

3)部会:

通常総会	家政学原論部会*3	生活経営学部会*2	家族関係学部会*3	児童学部会*1
	食品組織部会*2	食文化研究部会*4	被服材料学部会*1	被服整理学部会*1
	被服構成学部会*1	被服衛生学部会*1	被服心理学部会*2	色彩・意匠学部会*1
	服飾史・服飾美学部会*1	家政教育部会*2	住居学部会*1	
臨時総会	被服衛生学部会*1			

*1:対面開催とした。*2:オンライン開催とした。*3:ハイブリッド方式で開催した。*4:オンラインと書面を併用した。

4)若手の会:幹事の交代に伴い幹事の役割、企画等の見直しや検討を行った。

(2)理事会、役員会等

1)本部:理事会4回(うちweb会議3回、ハイブリッド会議1回)、臨時理事会3回、会長副会長会12回(うちweb会議8回、対面会議4回)

2)支部:

東北・北海道支部	支部役員会3回(メール審議)
関東支部	支部役員会5回(4回はweb会議)、臨時役員会(第1回大会実行委員会として開催。以後は実行委員会は別に開催)1回(web会議)
中部支部	支部役員会3回(1回はweb会議) 支部役員連絡会2回(web会議)
関西支部	支部役員会5回(対面4回、web会議1回)
中国・四国支部	支部常任幹事会1回(web会議)、臨時常任幹事会3回(メール審議)、支部機関幹事会1回(対面)
九州支部	支部役員会4回(対面1回、メール審議3回)

3)部会:

家政学原論部会	常任委員会10回(web会議)、 新旧役員会1回(対面及びweb会議)
生活経営学部会	常任委員会6回(web会議) 新旧役員会1回(web会議)
家族関係学部会	部会役員会3回(メール審議1回、web会議2回)
児童学部会	1回(メール審議)
食品組織部会	1回(メール審議)
食文化研究部会	9回(web会議5回、ハイブリッド会議2回、対面会議1回、メール審議1回)
被服材料学部会	部会幹事会2回(メール審議2回、対面1回)
被服整理学部会	部会企画などについて2回(メール審議)
被服構成学部会	4回(web会議)
被服衛生学部会	3回(web会議2回、対面1回)
被服心理学部会	2回(web会議1回・対面1回)
色彩・意匠学部会	部会役員会3回(対面)
服飾史・服飾美学部会	部会役員会5回(web会議3回、メール審議2回)
住居学部会	2回(web会議)
家政教育部会	4回(対面1回、メール会議4回)

4)若手の会:幹事会1回(web会議)、大会企画2回(メール審議1回、web会議1回)

(3)各種委員会

1)本部:

役員選挙管理委員会	0回
財務委員会	1回
企画・広報委員会	1回(web会議)
国際交流委員会	2回(web会議)、大会企画3回(web会議)
編集委員会	4回(web会議)
研究発表審査委員会	1回(web会議)
学会賞選考委員会	3回(web会議・ハイブリッド会議)
功労賞推薦委員会	2回(web会議・ハイブリッド会議)
名誉会員審査委員会	0回
家政学夏季セミナー実行委員会	8回(5回web会議)
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	6回(web会議、メール審議)

2) 支部：

東北・北海道支部	支部若手研究助成選考委員会1回(メール審査)、支部学生表彰選考委員会1回(審査)
関東支部	若手の会幹事会5回(うち3回はweb会議)
中部支部	若手の会役員会(ミーティング)5回 中部支部奨励賞選考委員会3回(うち1回はメール審査)
関西支部	若手の会幹事会2回(web会議)
中国・四国支部	支部賞選考委員会1回(メール審査) 優秀研究発表賞選考委員会1回(web会議)
九州支部	支部賞選考委員会1回(メール審査)

3) 部会：

家政学原論部会	編集委員会、選挙管理委員会等随時メール、web及び対面会議
生活経営学部会	企画委員会、会誌編集委員会等につき随時メール及びweb会議
家族関係学部会	編集委員会、セミナー実行委員会(随時web・メール会議)、選挙管理委員会(対面)
児童学部会	編集委員会、公開シンポジウム開催等につき随時メール会議
食品組織部会	大会企画実行委員会1回、出版企画委員会 2回
食文化研究部会	編集委員会5回、奨励賞選考委員会2回(web会議)、文献目録委員会10回(web会議)
被服材料学部会	夏季セミナー実行委員会他 5回(メール審査)
被服整理学部会	夏季セミナー実行委員会および部会企画などについて(メール審査)
被服構成学部会	部会誌オンライン化検討委員会(web 会議)、企画委員会(web及びメール会議)、ZKK協力検討会議(web及びメール会議)
被服衛生学部会	セミナー実行委員会3回(メール審査)、企画委員会3回(メール審査)、編集委員会5回(メール審査)
被服心理学部会	セミナー実行委員会他随時メール及びweb 会議
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他随時メール審査
服飾史・服飾美学部会	企画委員会2回(メール審査)
住居学部会	住教育勉強会 メール配信及び勉強会(3回)
家政教育部会	セミナー実行委員会4回(webメール審査)

9. その他

(1) 学園台ハイツの老朽化に伴い、学園台ハイツ内の学会事務所の改修及び今後の在り方に関するワーキンググループ(会長を委員長とする5名)を立ち上げ、方向性について検討した。

(2) 役員選出を電子投票で行うことを理事会で決定した。

10. 会員

会員の状況(2025年3月31日現在)

		正 会 員 (永年会員)		学生会員	海外会員	賛助会員	計	前年度との増減
支 部	東北・北海道	136	(13)	4	-	-	140	▲14
	関東	884	(54)	73	-	-	957	▲10
	中部	193	(11)	8	-	-	201	▲10
	関西	338	(19)	30	-	-	368	0
	中国・四国	200	(11)	23	-	-	223	▲9
	九州	127	(9)	15	-	-	142	▲2
	名誉会員	12	-	-	-	-	12	0
	海外会員	-	-	-	9	-	9	2
	賛助会員	-	-	-	-	29	29	▲2
	会員種別合計	1,890	(99)	153	9	29	2,081	▲45
	前年度との増減	▲69	0	24	2	▲2	▲45	

▲減少

11. 附属明細書に関する事項

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。